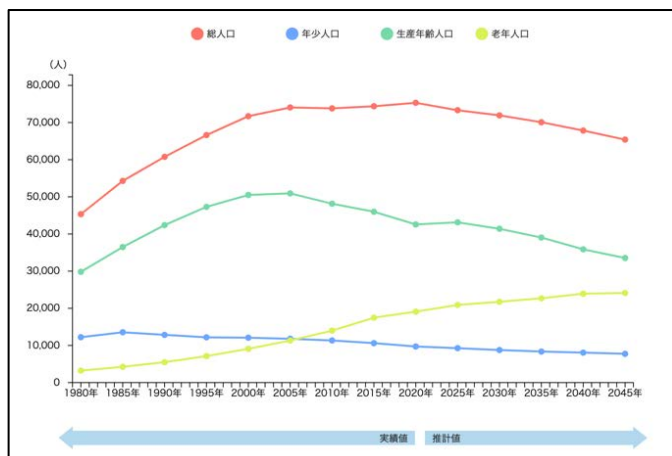


## 山梨県甲斐市 REASA による経済動向分析

REASA（地域経済分析システム）は、地域経済に関するさまざまなデータをグラフ等により「見える化」したシステムです。

### ① 年齢別人口の推移、人口ピラミッド、滞在人口

#### 【年齢別人口の推移】



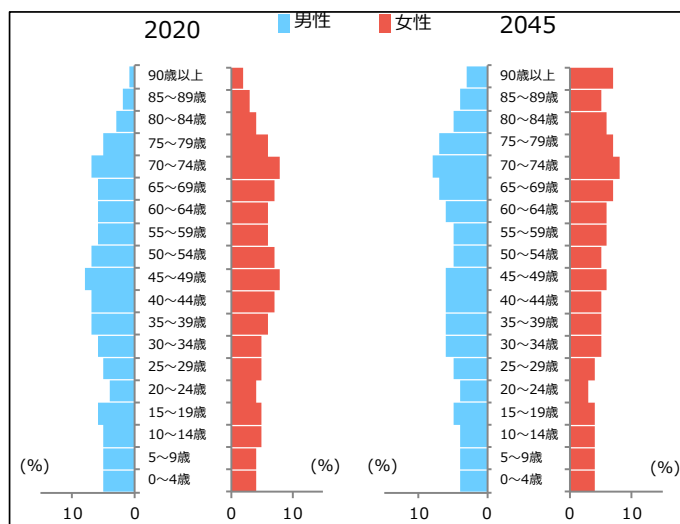
2020年の甲斐市の総人口は75,313人。10年前（2010年）の73,807人と比較して増加している。一方、今後は減少が続く見込みである。

年齢別の将来の傾向を見ると年少人口、生産年齢人口は減少し、老年人口は増加する見込みである。少子高齢化が一層進むことが予測される。

#### 【人口ピラミッド】

人口推移グラフ生成用データ

単位：人



該当年	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
1985年	54,291	13,554	36,487	4,247
1990年	60,765	12,841	42,392	5,496
1995年	66,628	12,188	47,302	7,131
2000年	71,706	12,092	50,502	9,087
2005年	74,062	11,799	50,933	11,327
2010年	73,807	11,346	48,157	13,986
2015年	74,386	10,614	45,997	17,486
2020年	75,313	9,721	42,576	19,088
2025年	73,320	9,276	43,141	20,903
2030年	71,927	8,767	41,403	21,757
2035年	70,081	8,351	39,039	22,691
2040年	67,846	8,062	35,871	23,913
2045年	65,407	7,741	33,540	24,126

現在と将来の年齢別人口の構成を示したグラフである。2020年から2045年に向けて老年人口構成比は11.5%増加する。

一方、生産年齢人口構成比は△5.2%、年少人口構成比は△1.0%減少する見込みである。

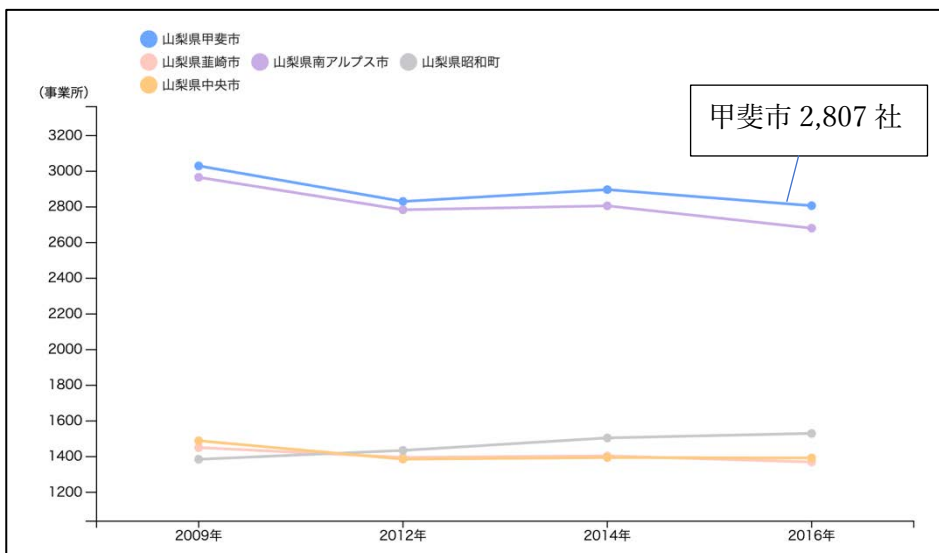
② 産業構造（事業所数、従業者数）

【2016年企業数（企業単位）】



上図は甲斐市内の事業所数を業種ごとに面の大きさで示したグラフである。最も多いのは「卸売業・小売業」で351事業所であり、全体の16.2%を占めている。その後、「建設業」318社、14.6%、「不動産業、物品賃貸業」270社、12.4%と続いている。

【事業所数の推移】

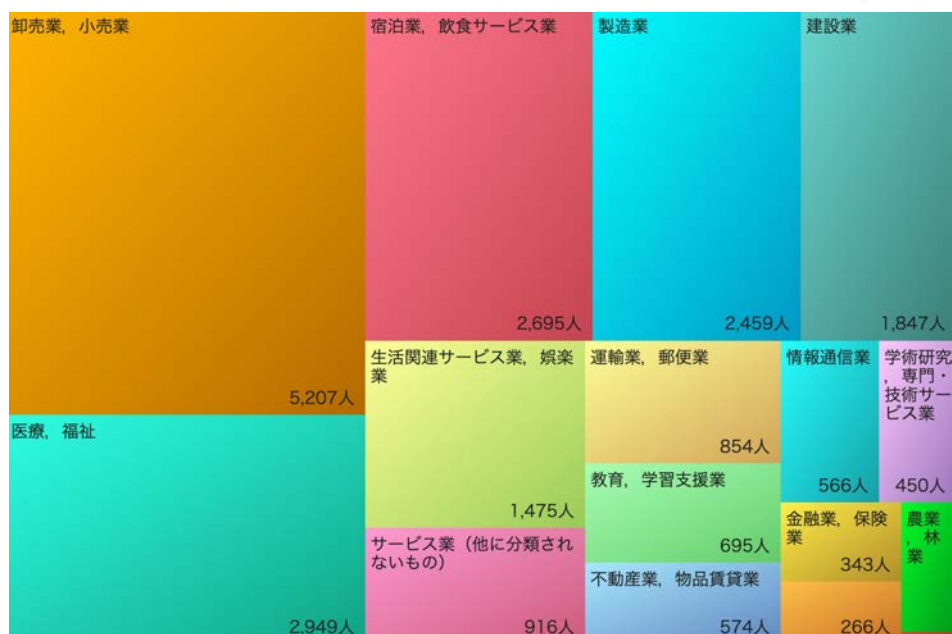


甲斐市内の事業所数の推移は、2009年3,030事業所、2012年2,831事業所、2,897事業所、2016年2,807事業所となっており、減少から横ばいで推移している。

また近隣地域の2016年における事業所数では、南アルプス市2,681事業所、昭和町1,530事業所、中央市1,393事業所、韮崎市1,370事業所となっている。

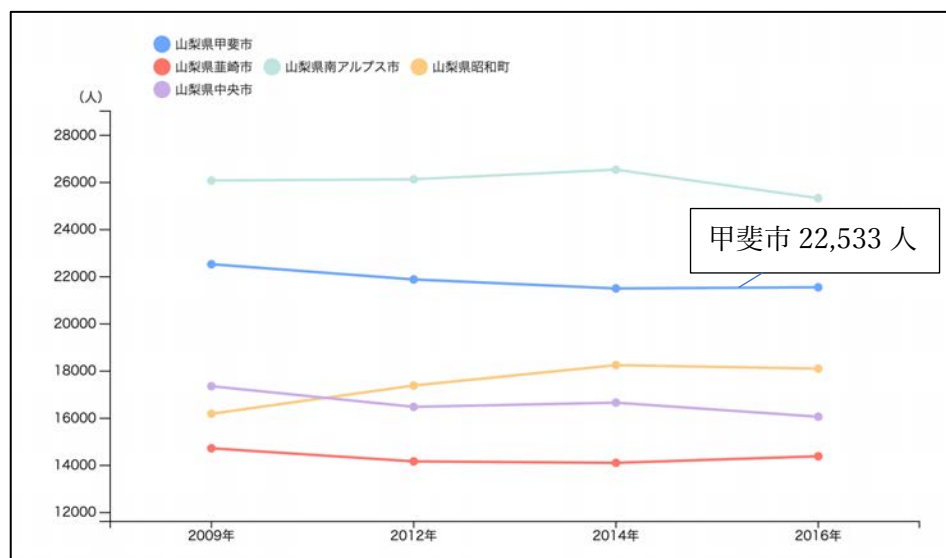
## 【2016年従業者数（事業所単位）】

従業者数：21,554人



甲斐市内の従業者数を業種ごとに面の大きさで示したグラフである。最も多いのは、「卸売業・小売業」で5,207人であり、全体の24.15%を占めている。その後、「医療・福祉」の2,949人、「宿泊業、飲食サービス業」の2,695人と続いている。

## 【従業者数の推移】



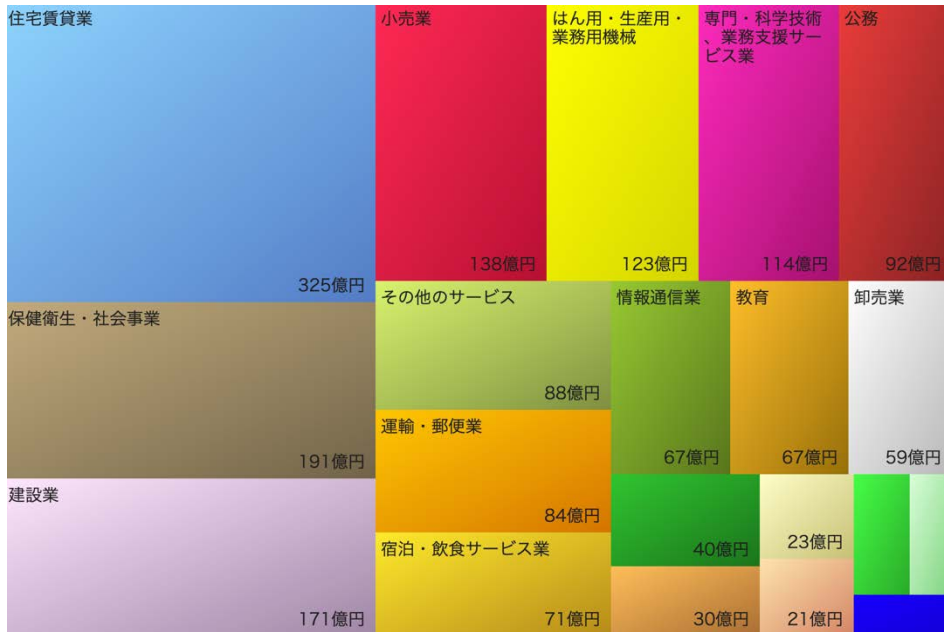
甲斐市内の従業者数の推移は、2009年22,533人、2012年21,889人、2014年21,508人、2016年21,554人減少から横ばい傾向で推移している。

また近隣地域の2016年における従業者数では、南アルプス市25,335人、昭和町18,104人、中央市16,068人、韮崎市14,388人となっている。

③ 生産（付加価値額）分析、地域経済循環図

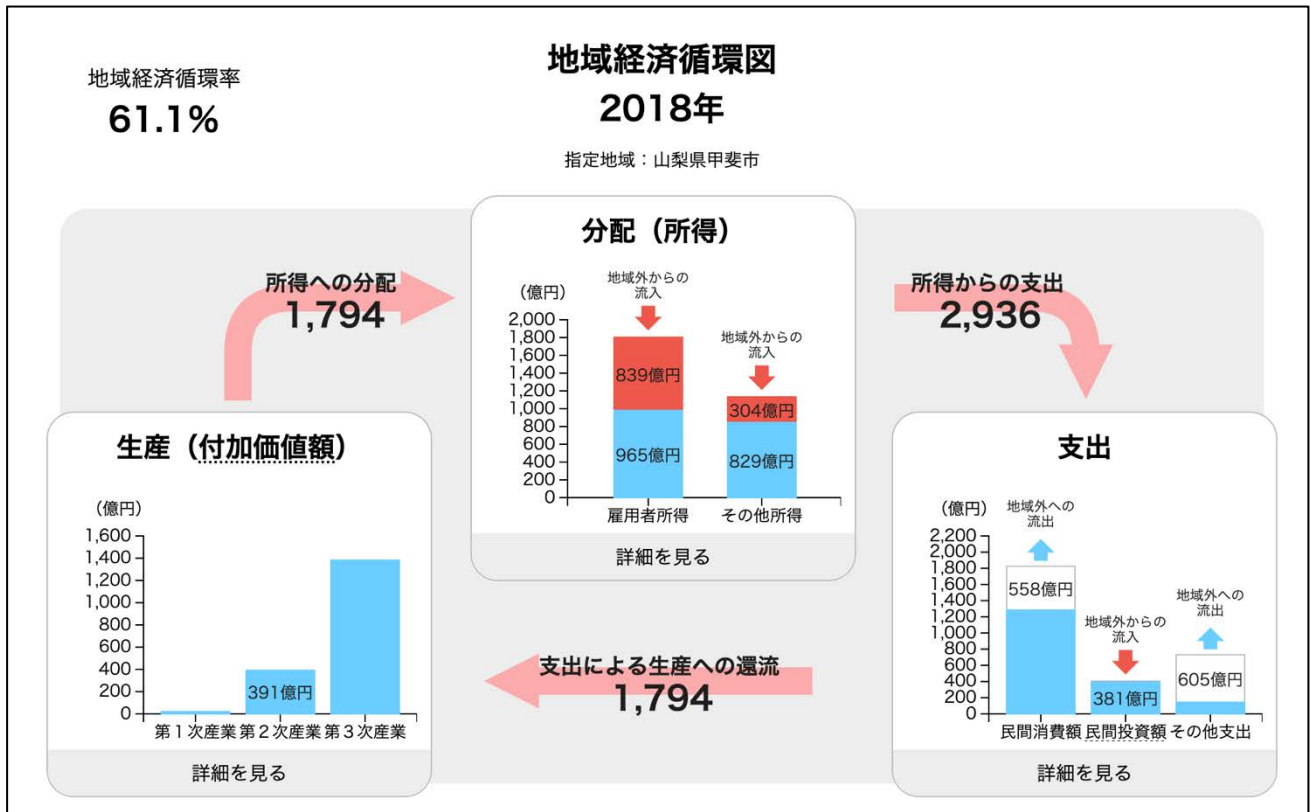
【付加価値額（2018年）】

総額：2,950億円



甲斐市内事業所の付加価値額の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値額が最も高い業種は「住宅賃貸業」、続いて「保健衛生・社会事業」、「建設業」となっている。事業所数で最も多い業種は「卸売業・小売業」であるが、付加価値額の視点では小売業が第4位、卸売業が第13位となっている（合算すれば197億円となり、住宅賃貸業に次ぐ第2位となる）。

【地域経済循環図】

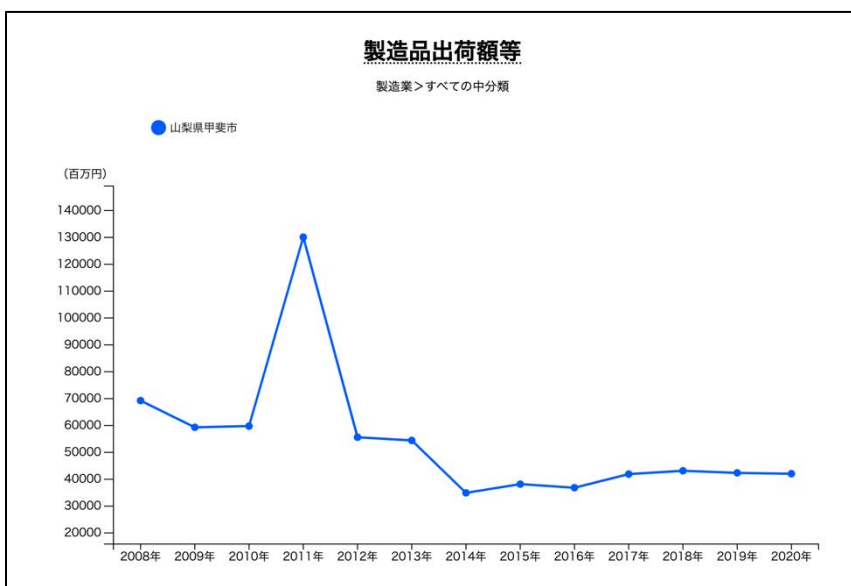


甲斐市内企業の経済活動を通じて生産された付加価値額は、労働者や企業の所得として分配され、それが消費や投資として支出され、再び甲斐市内企業に還流する。この流れを示しているのが地域循環図である。

1. 甲斐市の企業は合計 1,794 億円の付加価値を創出している。
2. 付加価値のうち、支出に回されるのは 2,936 億円。市外からの流入（1,142 億円）があるため、付加価値額を超えている。
3. 市内で支出に使われた金額が 1,794 億円。市外へ流出（1,142 億円）しているため、2,936 億円よりも少ない。

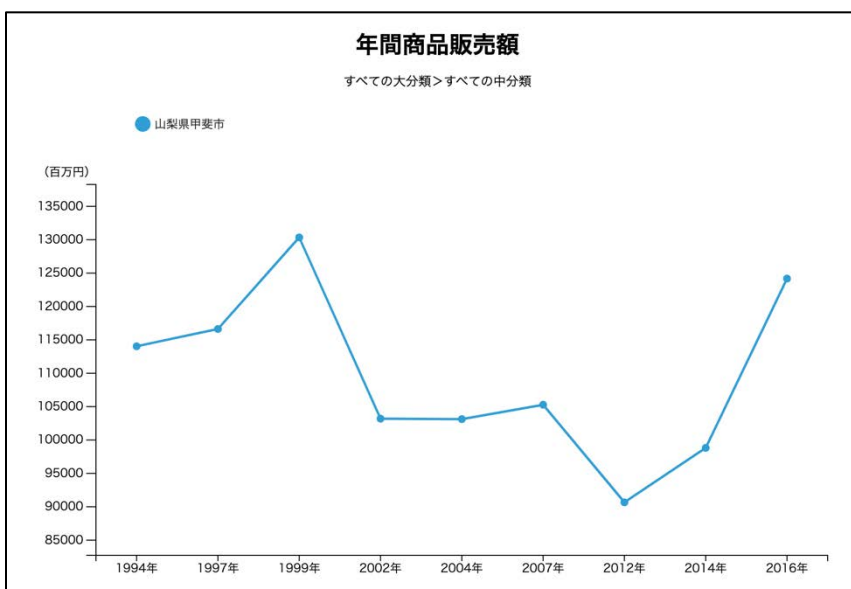
#### ④ 商工業の動向（製造品出荷額の推移、年間商品販売額の推移）

##### 【製造品出荷額の推移】



甲斐市内における製造品出荷額は 2008 年 69,272 百万円から 2014 年 34,916 百万円へと減少した後、2020 年 42,045 百万円へと横ばいから微増で推移している。

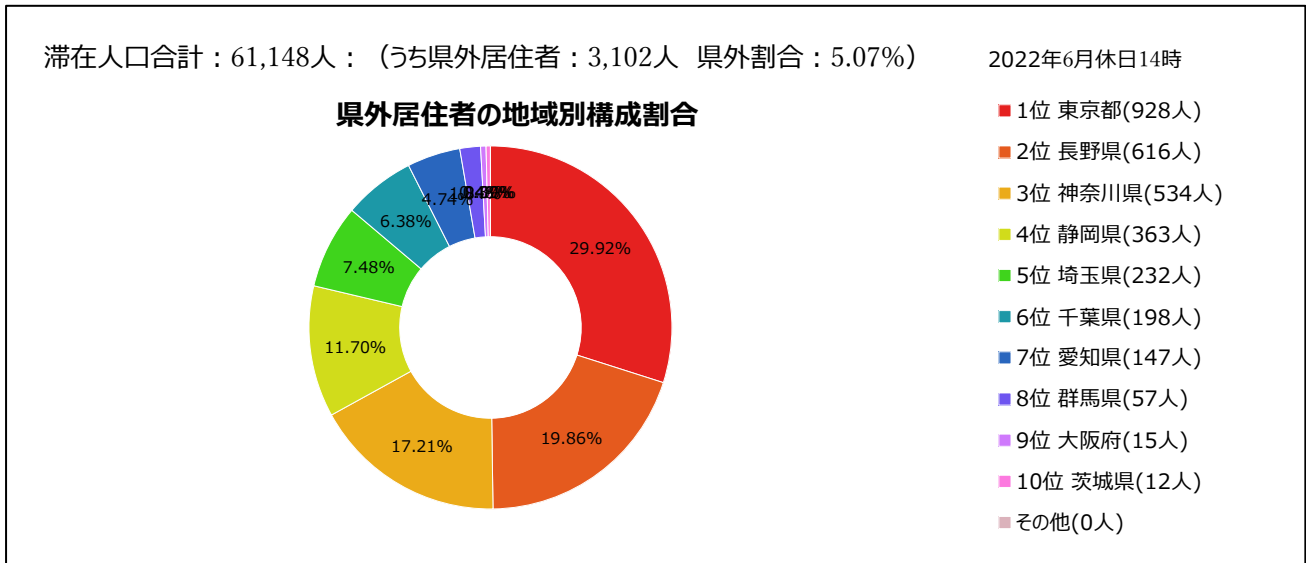
##### 【小売業・卸売業の年間商品販売額の推移】



甲斐市内で最も事業者数の多い「小売業・卸業」の年間商品販売額は、1994 年 114,039 百万円から 2012 年 90,663 百万円まで減少。それ以後は反転し、2016 年 124,180 百万円まで増加。

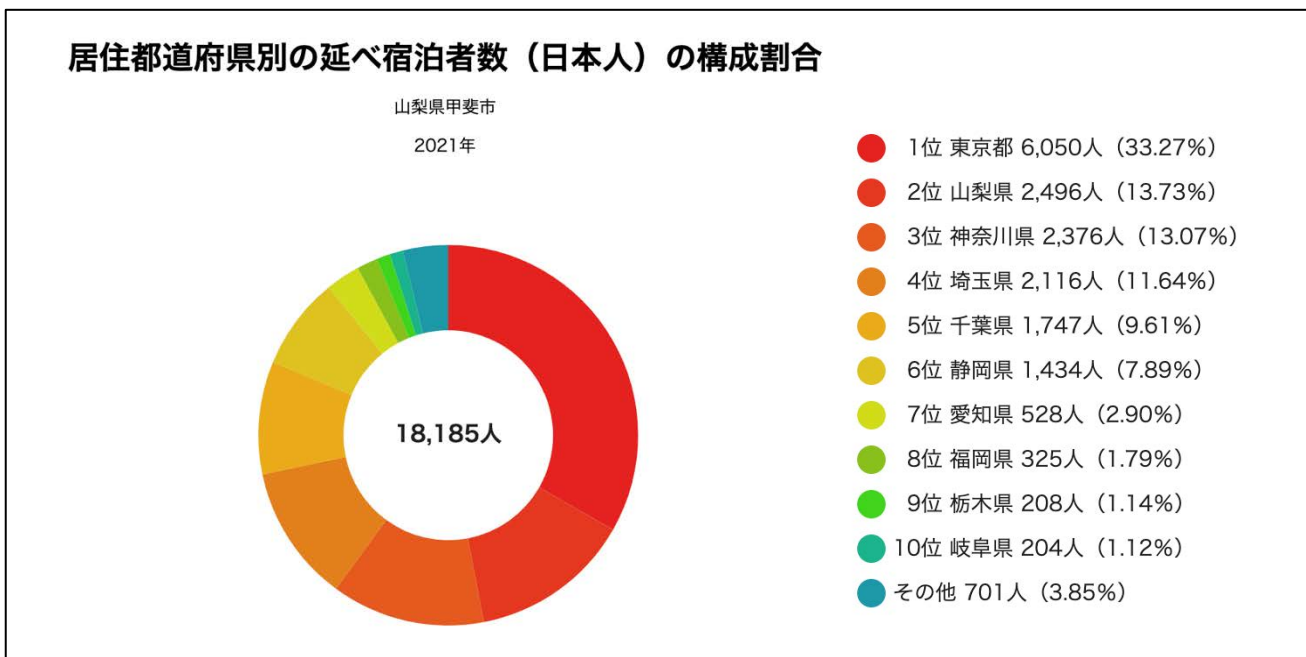
⑤ 観光マップ

【県外居住者の地域別構成割合】



休日 14 時にどの都道府県から甲斐市内に観光客等が来ているかを示したグラフである。東京都が 32.9%と最も多く、長野県が 22.04%、神奈川県が 16.29%と続いている。

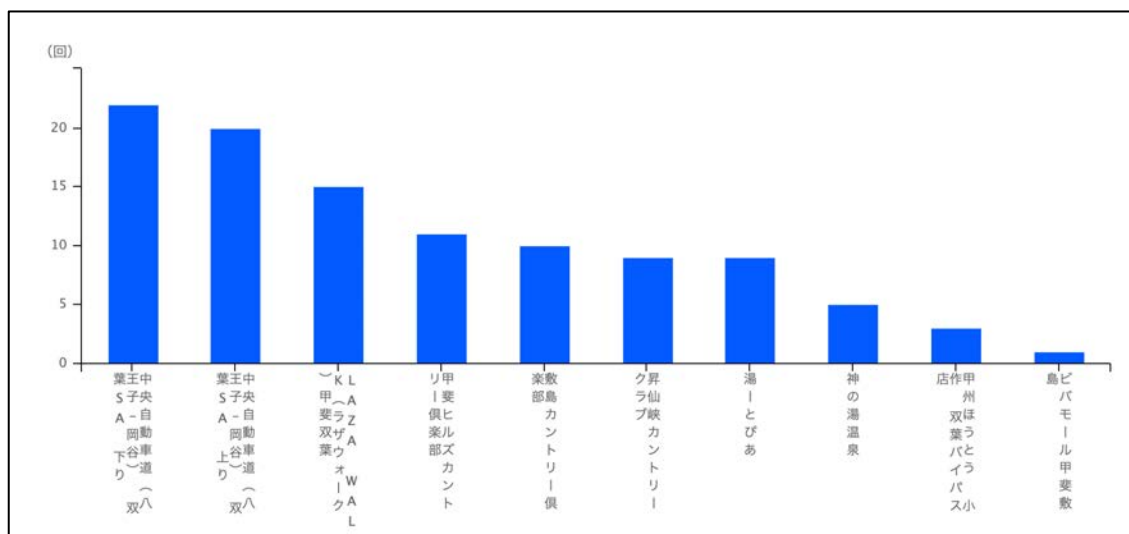
【居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合】



2021年に甲斐市内における居住都道府県別の延べ宿泊者数の構成割合では、1位東京都 33.27%、2位山梨県 13.73%、3位神奈川県 13.07%、4位埼玉県 11.64%、5位千葉県 9.61%となっており、山梨県を除けば関東近郊からの宿泊者の割合が高い。



【甲斐市内目的地検索ランキング】

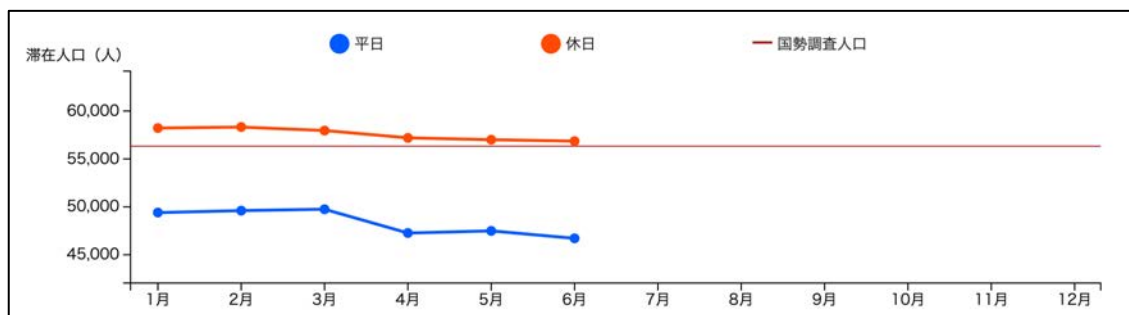


甲斐市内における2022年3月(休日)にカーナビで検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「中央自動車道双葉SA(下り)」「中央自動車道双葉SA(上り)」、「ラザウォーク甲斐双葉」の検索回数が多く、続いてゴルフ場が検索される回数が多かった。

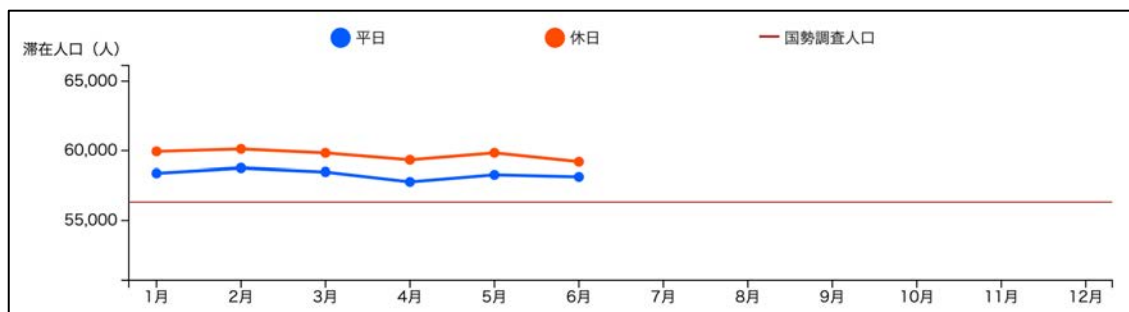
⑥ まちづくりマップ

【滞在人口】2022年1月から6月(15歳以上80歳未満)

ー 昼間 14:00



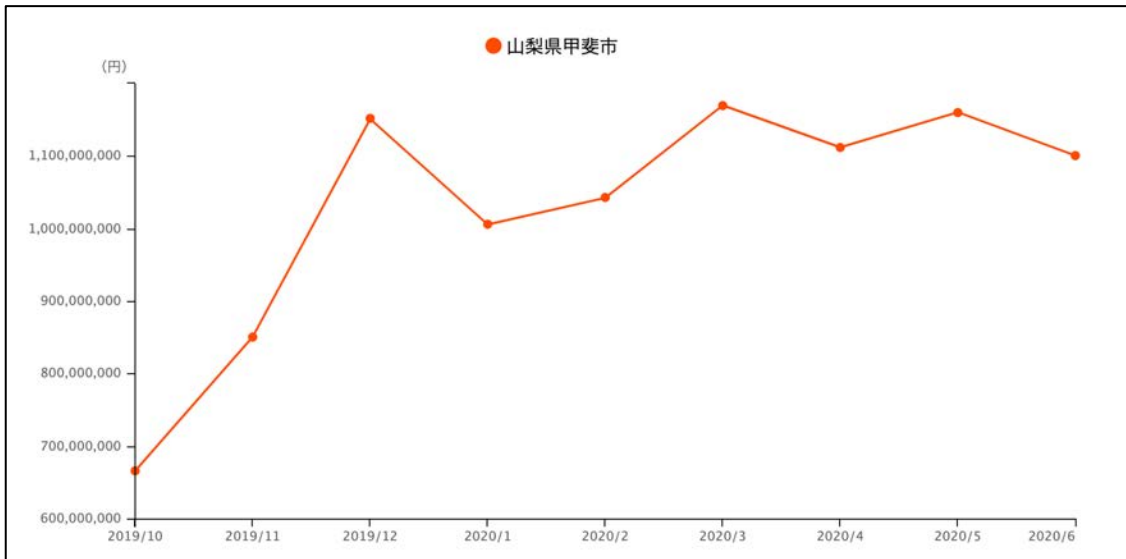
ー 夜間 20:00



甲斐市に滞在している人口を月ごとに示したグラフである。2022年6月における平日の昼間人口は46,712人、夜間人口は56,859人で約1.21倍となっている。昼間は通勤等により、他の地域へ流出している。

## ⑦ 消費マップ（キャッシュレス決済金額の推移）

### 【キャッシュレス決済金額の推移】



甲斐市内におけるキャッシュレス決済金額は2019年10月665,677,517円から2020年6月1,100,639,767円まで大幅に増加している。

## ⑧ 総括

- ・ 甲斐市は2010年から2020年にかけて総人口が増加しているものの、内訳として老年人口が大幅に増加している一方、年少人口、生産年齢人口は減少しており、少子高齢化が進んでいる。また今後もこの傾向が続く見込みとなっている。
- ・ 甲斐市内の事業所数・従業者数は2009年から2016年にかけて、減少から横ばいで推移している。
- ・ 2018年における甲斐市の付加価値額が高い業種は、「住宅賃貸業」「保健衛生・社会事業」、「建設業」の順になっている。
- ・ 製造品出荷額は2014年を底にして、2020年にかけて横ばいから増加傾向で推移している。年間商品販売額は2012年を底にして、2016年まで横ばいから増加して推移している。
- ・ 甲斐市内に観光等で滞在している県外居住者構成割合は多い順に、東京都、長野県、神奈川県となっている。
- ・ 甲斐市内に甲斐市内における居住都道府県別の延べ宿泊者数の構成割合では東京都、山梨県、神奈川県となっている。
- ・ 甲斐市は夜間人口より昼間人口が少なくなっており、昼間は通勤等で他の地域へ流出している。
- ・ 甲斐市内においてキャッシュレス決済の金額が増加している。

令和5年3月発行

発行：甲斐市商工会

〒400-0115 山梨県甲斐市篠原 2710-1

TEL055-276-2385 FAX055-279-0187

URL：<http://www.kai-shokokai.jp/>